神戸の須磨海岸を

里海にスマ Suma豊かな海プロジェクト 2023～

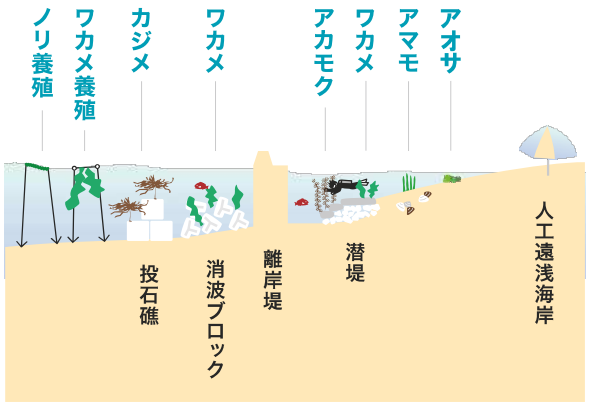
団体名：すまうら水産有限責任事業組合、 一般社団法人須磨里海の会、 兵庫県、 神戸市

兵庫県神戸市に位置する須磨海岸は、阪神間で最も多くの方が訪れる海水浴場として有名ですが、その沖には漁場が拡がり、港湾区域でもあります。多面的に利用されている海で、本来の生物多様性や生産性を保つ『豊かな海』を目指し、保全や啓発活動を通じて、より多くの方に海の豊かさを享受いただけるよう活動しています。

地域＆官民連携

兵庫県や神戸市が人工海浜や漁場など太陽光の届く浅場を整備し藻場が形成されやすい基質となっています。そこで、すまうら水産が海苔やワカメなどの海藻類の養殖や海の環境保全に取り組み、須磨里海の会とアマモの植栽などの藻場づくり等を行っており、地域の協力を得て官民が連携した活動をしています。

藻場のダイバーシティ



人工遠浅海岸ではアオサ場、アマモ場、その潜堤では主にアカモクが繁茂するガラモ場、沖の消波ブロックにはワカメ場、築磯の漁場にはカジメ場といった多様な藻場が形成されています。今後、これらの藻場を適切に保全および拡大することにより、多様性に富んだ生態系の形成（ダイバーシティ）を目指して活動しています。

持続可能な仕掛け

『Ｓｕｍａ豊かな海プロジェクト』の一環で、海岸清掃・里海教室・地引網体験・環境調査などの参加型イベントを実施し、海に関わる様々な取り組みを行うとともに、楽しく持続可能なプロジェクトを目指して、海への関心をもち活動に参加する人を増やす取り組みも行っています。